プロファイル形状 A1 スケール

BTL6 は、プロファイル形状の非接触の リニアスケールです。摩耗の傾向がある 接触式のポテンショメーターの置換えと して、長寿命が期待できます。又、設置 が容易で高い保護構造が得られます。

リニアスケールのセンサー部は、アルミニウムのハウジングで保護されています。 センサー上を移動するポインタの位置で 距離測定を行います。

測定範囲は、50 から 1500mm まで。 ご要望により 3250mm まで可能です。

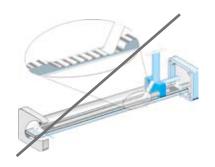
- 非接触による位置検出
- IP 67 の耐環境性
- -丸型で取付けが容易
- ーコネクタ接続で、配線が容易
- -優れた耐衝撃と耐振動
- ーアブソリュート出力
- ーアナログ出力タイプとパルス 出力タイプ

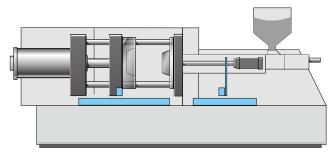
スケールタイプ	BTL6 プロファイル形状 A1
耐衝撃	50 G/6 ms (IEC 60068-2-27)
耐振動	12 G, 102000 Hz (IEC 60068-2-6)
逆接続保護	有
過電圧保護	有
保護構造 (IEC 60529)	IP67 (BKS-S(IP67) 接続時)
ハウジング材質	アルミニウムダイキャスト
ハウジング取付	固定台にて取付
接続タイプ	コネクタ
EMC(電磁適合性)	
RF エミッション	EN 55016-2-3 Group 1 , Class A+B
静電気 (ESD)	IEC 61000-4-2 Severity Level 3
電解強度 (RFI)	IEC 61000-4-3 Severity Level 3
バースト (BURST)	IEC 61000-4-4 Severity Level 3
高周波フィールドにより生じる	IEC 61000-4-6 Severity Level 3
ラインノイズ	IEC 61000-4-8 Severity Level 4
標準ストローク長 (mm)	0050, 0100, 0130, 0150, 0175, 0200, 0225, 0250, 0300, 0350,
	0360, 0400, 0450, 0500, 0550, 0600, 0650, 0700, 0750, 0800,
	0850, 0900, 0950, 1000, 1100, 1200, 1250, 1300, 1400, 1500
	3250 までご要望により可能
·	·

オプションから標準へ

これまでマイクロパルスリニアスケールは、高精度なインジェクションマシン等に、幅広く使用されていました。また、汎用型量産機械にはポテンショメータのオプションとしても使用されてきましたが、量産機に標準仕様として採用されることは価格的に困難でした。

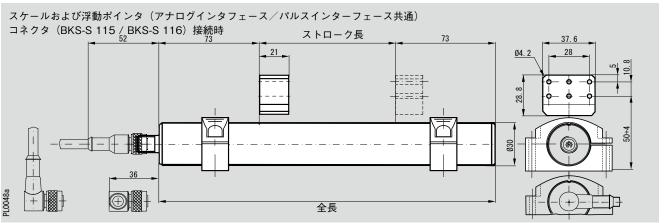
BTL6 シリーズは、産業界の技術的な要求と価格的要求の両方を満たす製品として、プラスチック産業の設計者と協力の上設計されました。





射出成形機用に使用した例

BTL6 プロファイル形状 A1 スケール外形寸法





BTL

BTL B

BTL A1

コントローラ *,* 表示ユニット

プロファイル形状 A1 アナログインターフェース

スケールタイプ	BTL6 プロファイル形状 A1	 BTL6 プロファイル形状 A1		
インターフェース				
インターフェースタイプ	Α	G		
出力信号	010 V / 100 V	-1010 V / 1010 V		
	OV O Smax	OV Smaxs -10V		
型式	BTL6-A110-MA1-S115	BTL6-G310-MA1-S115		
	 010 V 及び 100 V	-1010 V 及び 1010 V		
負荷電流	max.	5 mA		
リップル	 ≦ 5	5 mV		
 システム分解能	 ≦ 10 μm			
繰り返し精度	 ≦ 20 μm			
サンプリングレート	f _{STANDARD} =1 KHz			
リニアリティ		ローク長 ≦ 500mm		
	標準 . ± 0.02%、最大 . ± 0.04%	:ストローク長 = 5001500mm		
電源電圧	2028 V DC			
消費電流	<u>≤ 70</u>	≦ 70 mA		
逆接続保護	- 4			
使用周囲温度				
保存周囲温度	-40+100℃			

■型式例

①インターフェース仕様 A=電圧出力 0...10V

G=電圧出力 -10...+10V

3 =絶縁 (GND ≠ 0V)

③測定ストローク長 L(下表参照) mm

L= 0100, 0130, 0150, 0160, 0175, 0200, 0225, 0250, 0275, 0300, 0325, 0350, 0360, 0375, 0400, 0425, 0450, 0475, 0500, 0550, 0600, 0650, 0700, 0750, 0800, 0850, 0900, 0950, 1000, 1100,

1200, 1250, 1300, 1400, 1500

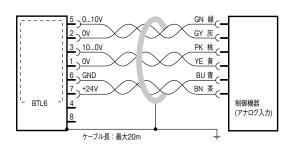
は推奨ストローク長

*BTL6-A110-M_ _ _ - A1-S115 のみ

■配線例

■ S115 コネクタ(BTL6-A/G_10-M_ _ _ _-A1-S115)の場合

ピン配置	入出力	ピン	色	BTL6-A110· · ·	BTL6-G310···
5	信号	1	黄	OV 出力(Pin3)	OV 出力(Pin3)
6 4		2	灰	OV 出力(Pin5)	OV 出力(Pin5)
7 8 3		3	桃	100V	-1010V
1~~2		5	緑	010V	1010V
コネクタ/	電源供給	6	青	GND	GND
メス半田面から)	7	茶	+24V DC	+24V DC



< 配線のご注意 >

- スケールの配線ケーブルは、ノイズによる誤動作を防止する為、動力線等大電流を流すケーブルと結束したり、 それらのケーブルに近接して配線しないでください。
- 位相制御を行う装置(サーボモータ)等からの誘導ノイズには、特に注意が必要です。その種のノイズを避けるため、電源はBTL専用に用意してください。
- 必ず、スケール側と制御盤側のグランド電位は同一にしてください。
- 配線にはシールドケーブル (φ 6…8mm) を使用し、シールドは必ず制御盤側でアース接地してください。
- アナログインターフェースの場合、最大ケーブル長は、電圧出力タイプ max.20m として下さい。
- 使用しない信号ラインは未接続にし、他の線と接触しないようにしてください。

BTL

製品一覧

BTL B

ポインタ

取り付け

アナログ

ポインタ

取り付け

アナログ パルス

ポインタ

町川什什

取り刊り

BTL A1

アナログ パルス

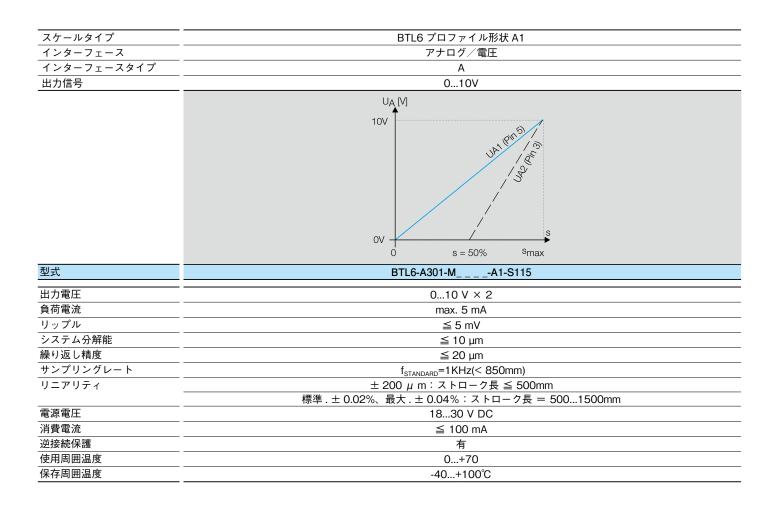
ホインタ

以り小り

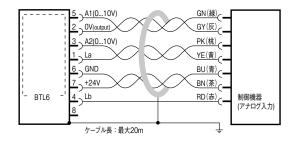
コネクタ

コントローラ / 表示ユニット

プロファイル形状 A1 アナログインターフェース



■配線例





接続	ピン	色	BTL6-A301
信号	1	黄	設定入力 La
	2	灰	0V 出力
	3	桃	010V 出力 2
	4	赤	設定入力 Lb
	5	緑	010V 出力 1
電源	6	青	GND
	7	茶	+24 V DC

< 配線のご注意 >

- スケールの配線ケーブルは、ノイズによる誤動作を防止 する為、動力線等大電流を流すケーブルと結束したり、 それらのケーブルに近接して配線しないでください。
- 位相制御を行う装置(サーボモータ)等からの誘導ノイズには、特に注意が必要です。その種のノイズを避けるため、電源はBTL専用に用意してください。
- 必ず、スケール側と制御盤側のグランド電位は同一にしてください。
- 配線にはシールドケーブル (φ 6…8mm) を使用し、シールドは必ず制御盤側でアース接地してください。
- アナログインターフェースの場合、最大ケーブル長は、 電圧出力タイプ max.20m として下さい。
- 使用しない信号ラインは未接続にし、他の線と接触しないようにしてください。

■型式例

BTL6-A301-M<u>0500</u>-A1-S115

①測定ストローク長 L mm

L= 0050, 0100, 0130, 0150, 0160, 0175, 0200, 0225, 0250, 0275, 0300, 0325, 0360, 0375, 0400, 0425, 0450, 0475, 0500, 0550, 0600, 0650, 0700, 0750, 0800, 0850, 0900, 0950, 1000, 1100, 1200, 1250, 1300, 1400, 1500

は推奨ストローク長

*50mm、100mm、130mm、150mm の場合、 使用できるポインタは 1 個のみです。





■ BTL6-A301-... の機能

・1 台で2箇所を測定可能

同じ方向で2箇所の測定が必要な場 合、従来は各方向に個別のフィード バック用センサが必要でしたが、本製 品は2つのアナログ出力(0~10V) を持ち、1台で2箇所を同時に測定可 能です。

2つのゼロ点及び終点は、プログラム で各々異なった値が設定できます。

2つの測定範囲は、隣接もしくは重複 が可能で、出力信号の増減方向もそれ ぞれプログラムできます。

・モード選択

標準のモード1では、2つの位置を各々 測定します。2点間の差を測定するモー ド2へは、プログラム入力で切り替え を行います。

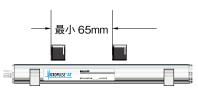
・ティーチイン

出荷時のゼロ点及び終点を、ティーチ イン方式で変更することができます。

まず設定したいゼロ点にポインタを合 わせ、次に終点を決めます。新たな設 定値は、ボタンを押すことで記憶され ます。

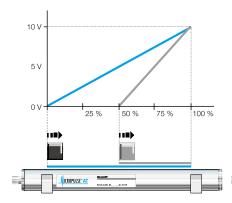
本製品は1または2個のポインタを同 時に使用できます。

ポインタ1個使用の場合、または2個 使用時に一方が測定範囲外に出てし まった場合は、出力1からは範囲内に あるポインタの位置信号が出力され、 出力2はエラー値を示します。



2個のポインタ間の距離が65mm未満 にならないように設定して下さい。

モード1:2つの位置の単独測定(デフォルト:100%・50%)



デフォルト設定:

出力1:ストローク長100%, 増加 出力 2:ストローク長 50% , 増加 10 V 5 V 0 V 100 % 25 % 50 % 75 % ine) 118 ICROPULSE* AT

プログラム例:

出力 1:ストローク長 25%, 増加 出力 2: ストローク長 50%, 増加 10 V 5 V 50 % 111

プログラム例:

出力 1:ストローク長 50% , 増加 出力 2:ストローク長 37.5%,減少

モード2:2つの位置の差異測定*

差異測定:

ポインタ1(基準点)とポインタ2の 位置の差を測定します。

出力 1:基準信号 = ポインタ1の位置 (差異の設定とは関係なく、ポインタ1の 位置信号を出力します。)

出力 2: 差異信号 最大時 (100%)=10V

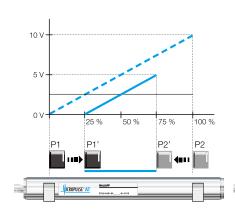
プログラムによる設定値と<出力2>の 例を右に示します。

(図中に出力1は示していません)

P1:ポインタ1 P2:ポインタ2

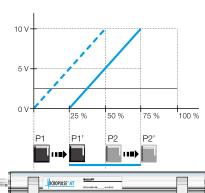
---:設定値(差異最大)

: 測定値



プログラム例1:

設定値:差異最大時=ストローク長 100% ストローク長 50% = 差異信号 5V



プログラム例2:

設定値:差異最大時=ストローク長 50% ストローク長 50% = 差異信号 10V

*ポインタ1と2の間隔は最小で65 mmです。

BTL

BTL A1

アナログ

プロファイル形状 A1 パルスインターフェース

スケールタイプ	BTL6 プロファイル形状 A1			
インターフェース	パルス			
インターフェースタイプ	P110			
出力信号	START/STOP パルス P			
	INIT INIT			
	P1 P110 M1			
	START/STOP START/STOP			
	↑			
	dt~s dt~s			
	START/STOP START/STOP			
型式	BTL6-P110-MA1-S115			
 システム分解能				
繰り返し精度	≦ 20 µm			
分解能	<u> </u>			
リニアリティ	± 200 μ m : ストローク長 ≦ 500mm			
電源電圧	2028 V DC			
消費電流	≦ 60 mA (at 1KHz)			
使用周囲温度	0+70 °C			
保存周囲温度	-40+100°C			

■型式例

BTL6-P110-M<u>0500</u>-A1-S115

①測定ストローク長mm

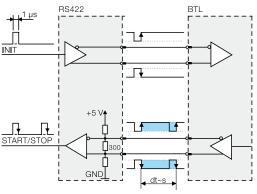
L= 0050, 0075, 0100, 0130, 0150, 0160, 0175, 0200, 0225, 0250, 0300, 0350, 0360, 0400, 0450, 0500, 0550, 0600, 0650, 0700, 0750, 0800, 0850, 0900, 0950, 1000, 1100, 1200, 1250, 1300, 1400, 1500

は推奨ストローク長

■インターフェース仕様

P110- インターフェースはバルーフ専用プロセッサ BTM・BTA をはじめ、Siemens, Schleicher, B & R, Bosch, 三菱 , Schiele, Parker, Esitron, WAGO など 様々な OEM コントローラと接続して使用することができます。(該当ユニットについては、メーカー各社にお問い合せ下さい。)

信号は RS-422 インターフェースにより、ノイズを効果的に抑えられており、BTL とプロセッサ間のケーブル長は 500m まで可能です。



P- インターフェース入出力回路

P1とM1からP110へ

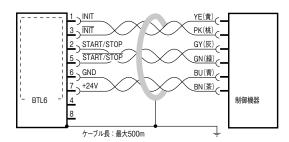
パルスインターフェースは、論理の違いにより、 P タイプ(「立ち上がりエッジ」を使用)、 M タイプ(「立ち下がりエッジ」を使用) 2 つのインターフェースが設定されていました。 P110 インターフェースはこれら2つを組み合わせ、両方に対応できるインターフェースとして 開発されました。

伝播時間測定の基準点は、スタートパルスです。

■配線例

■ S115 コネクタ(BTL6-P110-M_ __ _-A1-S115)の場合

ピン配置	入出力	ピン	色	BTL6-P110-M···
5	入力信号	1	黄	INIT
6 • • 4	出力信号	2	灰	START/STOP
7 8 3	入力信号	3	桃	ĪNIT
1 2	出力信号	5	緑	START/STOP
コネクタ/	電源供給	6	青	GND
メス半田面から 		7	茶	+24 V DC



< 配線のご注意 >

- スケールの配線ケーブルは、ノイズによる誤動作を防止する為、動力線等大電流を流すケーブルと結束したり、 それらのケーブルに近接して配線しないでください。
- 位相制御を行う装置(サーボモータ)等からの誘導ノイズには、特に注意が必要です。その種のノイズを避けるため、電源はBTL専用に用意してください。
- 必ず、スケール側と制御盤側のグランド電位は同一にしてください。
- | 配線にはシールドケーブル (φ 6…8mm) を使用し、シールドは必ず制御盤側でアース接地して下さい。
- パルスインターフェースの場合、ケーブル長は max.500m として下さい。

BTL

製品一覧

BTL B

7747

ポインタ

取り付け

アナログ

ポインタ

取り付け

アナログ パルス

ポインタ

取り付け

BTL A1

アナログ **パルス**

ポインタ

取り付け

コネクタ

コントローラ / 表示ユニット